

公安委員会定例会議(第31回)の開催状況

第1 日 時 令和6年12月4日(水)
午後2時07分 ～ 午後3時55分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警察学校長、情報通信部長
公安課長、総務課長

第3 議事の概要

1 佐伯委員長説示

本日は、加藤周一の『読書術』を読んで非常に面白いと感じた一説を引用してお話しします。

東京大学医学部出身の医学博士で、文芸評論家でもある加藤氏は、著書の中で「私は学生のころから本を持たずに外出することはほとんどなく、偉い人に待つように言われたときでも、懷から一卷の森鷗外を取り出して読みだせば、私がこれから会う人が偉い人でも、鷗外ほどではないのが普通です。待たせられるのが残念なところか、かえって中断されるのが残念になってきます。偉い人に限らず、相手が歯医者でも妙齡の婦人でも役所の窓口でも、待たせられていらいることはほとんどありません。私はいつも血沸き肉躍る本を持っていて、その本を読むことは、歯の治療や役所の届出や妙齡だが頭の鋭くない婦人との会談よりはるかに面白いからです」と述べています。私はこの一説が好きで、加藤氏の軽妙さ、それでいて感じる知性の深さ、自然でいて絶妙な筆致を感じます。

また、加藤氏は、「医学部の学生だったとき、解剖学教科書でさえも、実習で本当の人骨を見ながら参照すると、全ての活字が生きてきます。実習しなかったところを教科書だけで理解し覚えようとするとなりに難しく、実に退屈でした。経験に通じる本をよく読み、通じない本を無視するほか手がないかと思われます」とも述べ、加藤氏は本に対する思いや魅力を熱く語っています。

最近では、『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』という仕事と読書のあり方を述べた本がベストセラーになっていますが、スマートフォン等が普及している現代においても、読書は人に活力を与えてくれます。かくいう私も仕事で大変なときこそ本と向き合うことで活力を得てきましたし、今でも本と向き合う時間をととても大切にしています。

若者の読書離れが進んでいると言われていますが、加藤氏が述べているように、経験に通じる本を読むことは読書術として大切だと感じています。県警察の皆様も、業務で多忙な日々を過ごしていると思いますが、ぜひ読書の時間を作り、多くの知識や思考力を養っていただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和6年第30回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

(3) 犯罪被害者等早期援助団体の事業規程等の改正

総務室から、犯罪被害者等早期援助団体の事業規程等の改正について伺いがあり了承した。

(4) 禁止命令等実施報告

生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。

(5) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、17件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 女性職員キャリアアップ研修会の開催

警務部長から、女性職員キャリアアップ研修会の開催について報告があった。

委員から、「公安委員長と警務部長という責任ある立場の女性幹部が自己の経験を踏まえた体験談を語る研修会は、女性職員にとって大変貴重な機会であったと思う。逆境をいかに乗り越えて克服したかという生の話はきっと多くの女性職員に響いたと思う。今後も女性が社会で活躍する時代は続いていくことから、引き続きこうした機会を設けていただきたい」との発言があった。

委員から、「幹部や大勢の人数が集まる研修会等では、なかなか意見を言いにくいものだが、今回は質問に対して○×で回答する形態を取り入れるなど、参加者が意見を言いやすい環境で開催されており、工夫を凝らした研修会だったと思う。多くの女性職員が仕事に対するやりがいや使命感を持つ良いきっかけになったと思うので、今後もこうした取り組みを続けてほしい」との発言があった。

委員から、「私も参加し、非常に有意義で充実した研修会であった。研修会の中で一つ気になったことは、仕事に自信がないという意見が意外に多かったことである。警察の仕事は困難だと思うが、今後リーダーとなっていく女性職員がもっと自信を持てるようにしていくことが必要だと感じた」との発言があった。

(2) マイナンバーカードと運転免許証の一体化制度の概要及び対応状況

交通部長から、マイナンバーカードと運転免許証の一体化制度の概要及び対応状況について報告があった。

委員から、「本制度については、運転免許証に代えてマイナンバーカードを利用することができ、保有形態は複数のパターンに分類されることから、理解しづらい方がいるかもしれない。県民に対して分かりやすく丁寧な説明や対応に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「実際にマイナンバーカードへの免許情報の書き込み作業

について実演いただいたが、今後いろいろな質問や、あるいは課題もみえてくると想定される。関係機関と連携し、適切に対応いただきたい」との発言があった。

委員から、「マイナンバーカードと運転免許証の一体化制度が開始される当初は混乱が予想されるが、一体化のメリットに期待したい」との発言があった。

(3) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関して報告があった。

(4) 令和6年度全国警察逮捕術大会及び拳銃射撃競技大会の結果

警務部から、令和6年度全国警察逮捕術大会及び拳銃射撃競技大会の結果について報告があった。

4 その他
なし

以 上